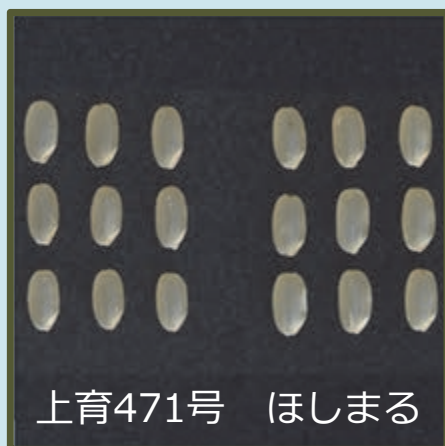


直播栽培
の救世主



「上育471号」で



水張り面積
の確保・
規模拡大を
実現！！

平成31年産「上育471号」栽培技術資料

「上育471号」は直播栽培に適した早生の新品種です。ここでは平成30年度に行った普及展示圃事業の現地試験データに基づき、直播栽培のための栽培技術資料をまとめました。「上育471号」の特性を最大限に発揮するように、活用してください。

「上育471号」は「多様なニーズに対応する米品種改良並びに栽培技術早期確立事業」、「農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業」の成果として平成30年に北海道の優良品種に認定されました。普及展示圃場の調査データには「イノベーション創出強化研究推進事業」の成果を一部使用しています。

2019年 2月

北海道 / 道総研農業研究本部 /  ホクレン / 北集 / 北海道米麦改良協会

「上育471号」の品種特性 (品種提案時の成績書より)

「上育471号」の品種特性を「ほしまる」と比べて紹介します。



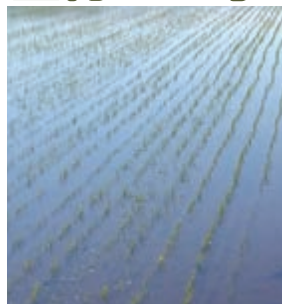
- 低温苗立ち性が優れる
- いもち病に強い
「上育471号」は「ほしまる」よりいもち病圃場抵抗性が強い特性でした。
- 玄米品質が優れる
- 収量がやや多い
- 食味は「ななつぼし」並み



割れ粃がやや多い

このため「上育471号」は病害虫防除を適正に行うことと、適期の刈取りが励行されてます。

上育471号



ほしまる

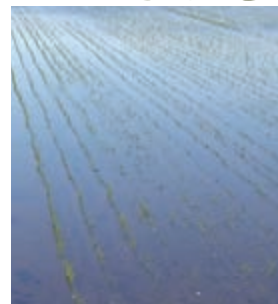


写真 苗立ちの様子
(6月12日、播種後24日目)

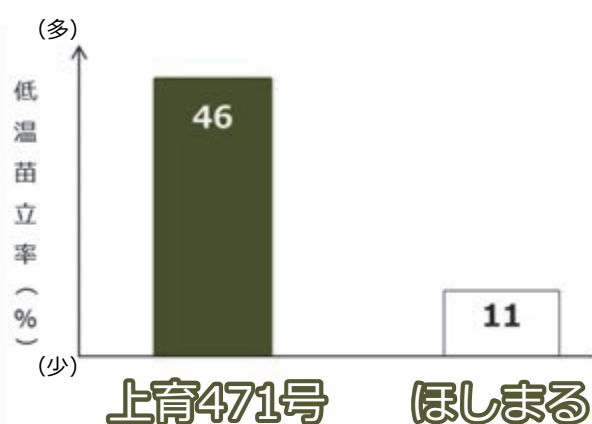


図 低温苗立ち率の比較 (室内検定)
(低温条件 (13-14℃) での苗立ち率: 低温苗立ち性検定、平成24~29年)



上育471号

ほしまる

写真 玄米の比較
「上育471号」は腹白粒や乳白粒が少ない。

！ 草型が偏穂数型です

「上育471号」は草型 (生育のパターン) が穂数型の「ほしまる」とは異なります。「ほしまる」に比べて、分けつが出にくく、穂数が少ない反面、一つの穂が大きい特性です。

！ 耐倒伏性は同等です

「上育471号」は「ほしまる」同様に倒伏に強い品種ではありません。稈長は「ほしまる」よりやや長いです。

表 直播での収量比較 (kg/a)

地域	全箇所	道北道央
上育471号	54.4	57.6
ほしまる	53.4	55.4
ほしまる比	102	104

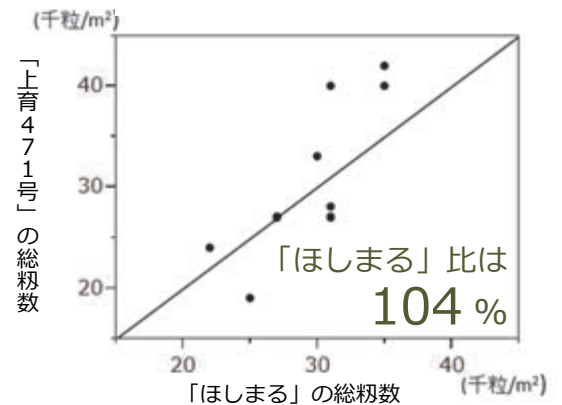
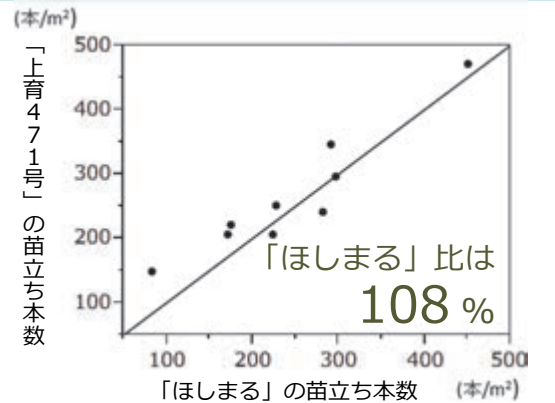
注) 平成27-29、普及見込み地帯の農試と現地の平均値。

平成30年現地試験での直播「上育471号」の結果概要

平成30年の普及展示圃事業の結果から「上育471号」と「ほしまる」を比べます。

- 苗立ちが早い
「上育471号」は「ほしまる」より2日早く出芽しました。
- 苗立ちが多い
「上育471号」は「ほしまる」比で苗立ち本数が108%でした。
- △ 分けつが旺盛とは言えません
「上育471号」は「ほしまる」比で一個体あたりの穂数が84%でした。
- △ 稈長は長め
「上育471号」は「ほしまる」比で稈長が109%で、約5cm高くなりました。
- 一穂粒数が多い
「上育471号」は「ほしまる」比で一穂粒数が115%、総粒数が104%でした。
- 今回の試験での収量は？
「上育471号」は「ほしまる」比で精玄米重が100%でした。

! 収量を伸ばすには
苗立ちが良い特性を活かして苗立ち本数を確保した後に、分けつを促す管理をしましょう。



上育471号

(「ほしまる」を100とした比(%))

(m ² あたり)	7月1日 茎数	112
	8月1日 茎数	98
	穂数	91
一個体あたり	穂数	84
	稈長	109
	一穂粒数	115
	総粒数	104
	千粒重	94
	精玄米重	100
	精白米 タンパク質	87

直播「上育471号」の作り方

平成30年の普及展示圃事業の結果から「上育471号」の作り方が見えてきました。

▶ 当面の播種量

慣行と同じ **375 粒/m²** (乾粃で約10kg/10a) を当面の播種量とします。「上育471号」は苗立ちが良好ですが、偏穂数型なので作期中の茎数や穂数を確保するため、播種量は慣行と同じになります。

▶ 播種後の水管理

慣行と同様、湛水直播は速やかな落水が基本です。乾田直播も湛水直播も乾燥しすぎたら、走り水が出芽促進に有効です。

そして、「上育471号」は出芽が**早い**ので、出芽に応じて湛水を早くできます。出芽・湛水の早さを肥効確保や雑草防除などに活かしましょう。

▶ 当面の施肥量

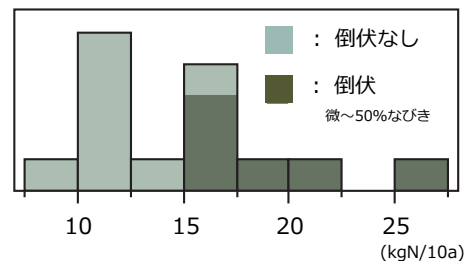
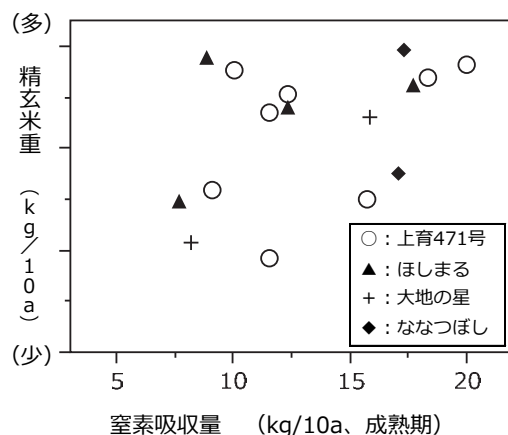
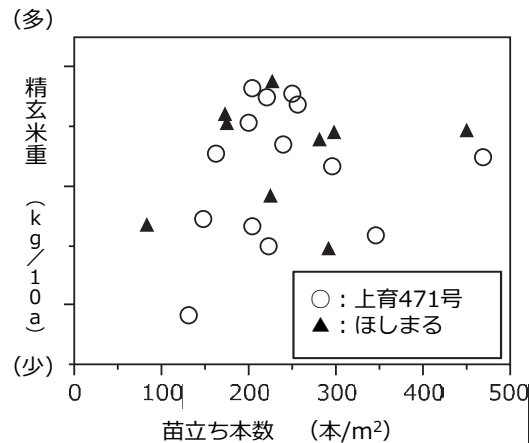
当面は慣行どおりの施肥量になります。

窒素を増肥しても、収量は**頭打ち**です。また、稈長が長いので、過度の増肥や追肥は**倒伏**に繋がる恐れがあります。

▶ 栽培管理

「上育471号」はいもち病に強いですが、カメムシ防除は必要です。慣行通りの防除になります。

「上育471号」は倒伏に強い品種ではありません。施肥を適量にすることや中干しの実施が有効です。また、倒伏軽減剤も対策の一つです。



「上育471号」の倒伏と窒素吸収量分布
(横軸が窒素吸収量の区分を、バーの長さがそれぞれの区分の頻度を示す)

「上育471号」向けの詳しい栽培技術は引き続き「多様なニーズ事業」で明らかにしていきます。